

平成24年度 農業高校助成事業（実践力育成助成）

事業主体名 鶴翔高等学校

1 目的

近年、地域の活性化につながる地元の原料を利用した加工品の製造が拡大しており、生徒の新製品開発や産業おこしについて学び、地域との連携を促進し、地域の農業後継者としてふさわしい人材の養成および農村社会を支えるリーダー的人材の育成を目的とする。

2 実施状況

(1) 企業研修の実施

活動内容，効果

糖蜜（サトウキビ原料液体の肥料）を使った肥料開発について、企業での研修を行い、実際に製造される過程なども学べた。生徒たちは授業にも意欲的に取り組むようになった。有用微生物を利用した有機液肥の試作では、実際に生徒たちの手で作ることで、製品を作ることができるという自信につながった。また、企業の方々と接することで自分たちの役割について、責任を持って取り組むようになった。



(2) 地域交流の実施

活動内容，効果

液肥を使ったミズナの収穫体験を地域交流として行った。商品開発や栽培技術への関心も高まり、知識の習得にも熱心に取り組むようになった。消費者と直接会話を行うことで、商品開発への思いと消費者としての価値観の両面から考えることで、プロダクトアウトという製造に対する意識も高まった。



3 今後の課題，取組

鹿児島のこれからの時代に対応した戦略的な産業おこしや、その産業を担う人材の育成、競争力のある農林水産業の振興や、雇用の創造などが今後の課題と考えられる。そこでアグリビジネスの起業・農産物の加工・ブランド化といった高付加価値化を目指して、1次産業を活かした4次産業化（1次産業＋3次産業）や6次産業化による実践的な教育の展開に取り組んでいきたい。